

日本語基礎研究Ⅰ(後期)

2単位 2年(後期)

岸江 信介・教授 / 社会創生学科

【授業目的】 この授業では、日本語学概論の音声・音韻・アクセントについての講義をする。音声学に関する基礎的な知識を身につけること、日本語学各分野への興味づけを行うことを目的にする。音声を科学的に追究するという姿勢を学び、音声学の研究成果を概説的に学習する。科学的視点での、ものの見方、とらえ方などを音声科学の諸事例を参照・検討することによって深めてみたい。なお、全国諸方言の音声・アクセント調査をフィールドワークとして実施し、各自が資料収集にあたり、分析を行う。

【授業概要】 国語学・日本語学・日本語教育等で基礎となる学習を行うが、ここでは主に日本語の音声・アクセントなどを幅広く取り上げ、概説的な授業のあと、音声・アクセントの資料を集め、分析を行う。

【履修上の注意】 授業は、講義形式を原則とするが、受講生各人が興味を持つ分野について、レポートを提出する。学期末毎にテストを行うこともある。

【到達目標】 日本語を科学的な視野からとらえ、日本語学の基礎を理解する。

【授業計画】

1. (1) 音声研究入門
2. (2) 音声とは?
3. (3) 聴音音声学と音響音声学
4. (4) 音声器官と発声の仕組み
5. (5) 母音と子音
6. (6) 拍と音節
7. (7) 日本語のポーズとイントネーション
8. (8) 日本語のアクセント
9. (9) 音声の対照研究
10. (10) 日本語の方言音声 1
11. (11) 日本語の方言音声 2
12. (12) 日本語音声の音響分析 -母音編-
13. (13) 日本語音声の音響分析-子音編-
14. (14) 全国諸方言音声・アクセント世代調査票の説明
15. (15) 全国諸方言音声・アクセント世代調査の実施
16. 総括授業

【成績評価】 評価は、レポート、小テスト、音声調査の参加を目安とする。

【再試験】 無

【教科書】

- ◇ 教科書:特に指定しない
- ◇ 教材:授業でプリントを配布することがある。
- ◇ 参考書:各分野で必要な論文・図書を紹介する。

【参考書】 今石元久編『音声研究入門』和泉書院

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218916>

【連絡先】

⇒ 岸江 (088-656-9309, kishie@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー:
火曜日12~13時 総合科学部1号館3階(2307) 656-9309:kishie@ias.tokushima-u.ac.jp)

【備考】

- ◇ 音声データの分析方法についての学習も行う。
- ◇ ノートパソコン、ICレコーダーを貸し出すこともある。